

令和3年度第1回自転車等駐車対策協議会議事録

1 開催日時 令和3年7月30日（金曜日）午後2時～午後3時30分

2 開催場所 文化フォーラム 2階 会議室A及びB

3 出席者

【会長】	中部大学 工学部都市建設工学科教授	磯部 友彦
【委員】	国土交通省 名古屋国道事務所 事業対策官	岩田 成人
	愛知県春日井警察署 交通課長	橋本 博史
	愛知県自転車モーター商協同組合	
	春日井支部 副支部長	安藤 公一
	かすがい女性連盟 会計	石原 美恵子
	勝川区 区長	長谷川 健二
	春日井商工会議所 専務理事	山田 眞平
	東海旅客鉄道株式会社管理部企画課 課長代理	渡邊 良成
	春日井市教育委員会事務局 学校教育課長	大城 達也
	春日井市総務部 市民安全課主幹	落合 邦和
	春日井市建設部 道路課長	荻谷 健生
	株式会社日本メカトロニクス営業部 次長	新海 慶之
	【事務局】	春日井市まちづくり推進部 部長
春日井市建設部次長兼まちづくり推進部 次長		尾関 健次
春日井市まちづくり推進部都市政策課		
課長		森 浩之
課長補佐		松浦 武幸
主査		米山 創
技師	菊池 滉記	

4 議題

- (1) 高蔵寺駅周辺自転車駐車場の取組について
- (2) 勝川駅周辺自転車駐車場について

5 会議資料

- ・資料1 高蔵寺駅周辺自転車等駐車場の取組について
- ・資料2-1 勝川駅周辺自転車駐車場について
- ・資料2-2 勝川駅周辺自転車等駐車場利用状況
- ・資料2-3 勝川駅無料自転車・バイク駐車場過去3年間の利用率
- ・資料2-4 勝川駅北第2自転車・バイク駐車場について

6 議事内容

- (1) 高蔵寺駅周辺自転車駐車場の取組について

【事務局 菊池】

資料1について説明を行った。

【磯部会長】

委員に意見を求めた。

【長谷川委員】

旧南口自転車駐車場と北口自転車駐車場旧館部分が廃止された後、どのような用途で使用されるのか。

【事務局 松浦】

旧南口自転車駐車場については、間もなく撤去工事に着手しようと考えており、当面の間は、空いた用地を有効に活用して、すでに始まっている、南口の駅前広場や地下通路の改修工事のための施工ヤードとして活用をしていく予定である。その後については、現時点で計画はできていない。

北口の自転車の旧館部分については、移転が終わると閉鎖し、今年度中に、解体工事に係る設計を実施し、解体工事は来年度以降になる。北口駅前広場も再整備を計画しており、駅前広場や駐輪場の再配置について計画を立てているところである。

【山田委員】

北口自転車駐車場旧館の右上、三角形のエリアは維持するのか。

【事務局 松浦】

三角形のエリアについては、屋根の付いた平面タイプの駐輪場になっており、耐震性が不足しているといったことがないので、しばらくの間は駐輪場として有効に活用をする。

最終的に駐輪場を建て替える際には、三角形のエリアを含め、今ある施設は解体されてなくなる。

【磯部会長】

利用者が駐輪場から駅まで歩く流れの安全性は確保されているか。

【事務局 松浦】

北口自転車駐車場は、出てすぐのところに、駅に向かう地下道の入口があるので、駐輪場に自転車をとめた後、車道を横断することなく、駅に入ることが可能である。

また、西口自転車駐車場は、付近に信号がついた横断歩道があり、そこを渡り駅へ向かうことが可能である。

北口バイク駐車場、当日自転車駐車場についても、信号のある横断歩道があり、渡って駅に入ることができる。

新南口自転車駐車場については、旧南口自転車駐車場と、近い場所に建設しており、多少は車の通りはあるが、大量の車両が入ってくるという認識はしておらず、安全性が格段に落ちたと考えてはいない。

【橋本委員】

防犯の観点から、盗難等の心配もあるので、防犯カメラ等設置の計画をお願いしたい。

【事務局 松浦】

防犯カメラを、寄付くださるお申し出があり、春日井警察と共同で、安全度を優先に、防犯カメラを設置する活動を昨年度以来続けている。

【落合委員】

市内の企業から、防犯カメラの寄贈の話があり、春日井警察の生活安全課と、市内のどこにつけるかを検討中である。その中で、駐輪場も候補に入っているが、どこに設置するかは検討中である。

【長谷川委員】

意見として、防犯カメラ設置は大変良い話である。駅周辺は、盗難等多いので、高蔵寺駅、神領駅、春日井駅、勝川駅の、いたるところに防犯カメラがあるとよいと思う。これを機会に検討してほしい。

(2) 勝川駅周辺自転車駐車場について

【事務局 菊池】

資料2-1～2-4について説明を行った。

【磯部会長】

委員に意見を求めた。

【石原委員】

地権者の方からの申し出もあるということで、やむを得ないことだと思う。しかし先日、現状を確認した結果、広い場所に余裕を持って止めてあるとはいえ、ほとんど使用されているという実態であった。令和元年度までは、利用率は67%で、昨年と今年度は50%未満であるが、これは、新型コロナウイルス感染症リスク軽減のために、自宅で仕事をする人が増えたことが要因だと考えられる。よって、利用者の方に、駐輪場が非常に狭くなり、利用台数が減ることを、早めに広報をして、周知徹底をすることが大切である。周知の計画について教えて欲しい。

【事務局 松浦】

駐輪場で周知をする際は、実際に駐車している利用者の自転車カゴにチラシを入れるような形で、啓発をすることと、出入口に大きな看板を設置して周知していくことが、効果的であると考えている。広報等の一般的な周知は行いつつ、チラシのカゴ入れ等、利用者に密接した周知を行うことによって、できるだけ混乱を避けていきたい。

近隣には有料の駐輪場もあり、本日は、民間の自転車駐車を経営している委員もいる。そういった場所は防犯レベルも高くなっていることから、有効な駐輪箇所として、案内をしていくのも一つの手だと考えている。必要に応じてご協力願いたい。

【磯部会長】

利用者は、自分が使用する駐輪場のことは知っているが、他にも自転車駐車場は沢山あることや、その空き具合がどうかというのはわからない。その辺りがわかると、利用者自身が判断して、どこが良いか選べるようになる。例えば、勝川駅西自転車駐車場は線路の高架下のため屋根付きになっており、屋根付きが良いと判断する可能性もある。キャパシティを減らすと、分散させるしかないので、情報提供の仕方を工夫して考えるとよい。

【橋本 委員】

本題からそれるが、勝川駅周辺で実証実験という形で、無料で乗れる緑色の春日井 gogo という乗り物が広報された。見た目はスクーターだが、ミニカーという属性であり、歩道に停めると駐車違反になってしまうことから、周辺のコインパーキングなどに入れていただくことになる。勝川駅周辺の駐輪場へ駐車をしたい場合に、可能かどうか、考え方を整理していただきたい。

【事務局 松浦】

公益財団法人自転車駐車場整備センターが設置をした有料自転車駐車場では、ミニカーの駐車を許可していないと説明を受けている。

無料の駐輪場については、春日井市自転車等駐車場条例によって、自転車、原付、普通自動二輪、大型自動二輪が対象となっている。例外規定として、市長が適当と認めるときは、自転車等以外の車両を駐車することができることとなっているものの、ミニカーの駐車は、現時点で整理をしていない。

自転車活用推進計画も整え、シェアサイクル等も検討していく必要があると認識しており、春日井 gogo のような乗り物が先行的に出てきた中、市でも対応を整理していく必要があると感じている。

【磯部会長】

自転車は種類が多くなってきている。例えば、一般的な普通自転車の他に、子供を二人乗せる三輪自転車や、同じくリアカーに乗せてけん引するタイプ等、対象となる車両の定義が一般市民にとってはすごくわかりづらい。今後どのような乗り物が出てくるかわからないが、社会的に必要なだから出てくるため、対象となる車両の定義を確認して、検討を進める必要がある。事務局は変わった事例、対応、苦労している点があったら教えて欲しい。

【事務局 森】

他に具体的な事例はない。

【岩田委員】

名古屋市では、放置禁止区域を設定すると、有料駐輪場を設けると聞いている。春日井市は無料の駐輪場も配置しているが、有料と無料を使い分けて設置する根拠を教えてください。

【事務局 松浦】

駐車対策協議会にて協議して、放置禁止区域を設定しており、その際に、駅周辺を三つのエリアに分類している。駅から200m程度のエリアを有料圏とし、駅から近く便利であるため、有料の駐輪場を整備している。また、駅から500mの範囲を無料圏とし、駅からは若干遠いが無料の駐輪場を設置するエリアとしている。最後に規制圏として、駐輪場を設けた上で、その周辺の路上に自転車を放置してはならないとしている。

平成21年の駐車対策協議会にて、勝川駅周辺ではどう当てはまるかを協議し、現在の形に整えた。市内の他の駅についても、駅から近い場所に有料の駐輪場があり、放置禁止区域が設定されていて、放置禁止区域の一番外側付近に無料駐輪場を配置するという政策展開を行っている。

【岩田委員】

有料駐輪場と無料駐輪場の台数の割合のようなものはあるか。

【事務局 松浦】

何対何というような定義付けは行っていない。有料駐輪場の利用者数の予測や、無料駐輪場の収容台数等は、駐車対策協議会にて協議し、一駅一駅事例ごとに確認をしている。

有料駐輪場を建設すると、大きな設備投資が必要で、運営にも金額がかかるため、慎重に確認をする必要がある。

【磯部会長】

有料駐輪場は、公益財団法人自転車整備センターにお願いしているところもあり、経営的な話もする必要がある。

勝川駅だけでなく、春日井市全体として放置禁止区域を設定していることの効果があるのかが大事な視点であるが、取り組みはうまくいっているか。

【事務局 松浦】

自転車放置対策についての施策は、非常に功を奏していると感じている。高蔵寺駅を皮切りに、放置禁止区域の設定を続けており、設定前は、各駅に数百台レベルの放置自転車がある状態であったが、現時点で、監視員が毎日このエリアを回って、定期的に撤去を行っているが、1日多くて5台を超えることはないレベルになってきた。路上に放置をしてはいけないという認識を、駅周辺でもっていただけていると感じている。

【磯部会長】

大事な数字だと思うので、上手くまとめておいたほうがよい。

名古屋市でも委員をしているが、名古屋市は昨年、返還をするときの手数料を値上げし、自転車を放置すると損をするという意識づけをしたいと考えている。春日井市は放置禁止区域の設定がうまくいっている事例である。

7 その他

【橋本委員】

愛知県の条例で、自転車に対して保険の加入義務と、ヘルメット着用の努力義務化がなされた。高齢の自転車利用者が事故に遭ったとき、受け身ができないため、頭を路面に打ち付けて致命傷になるという事故が多い。ヘルメットの着用が、命を守ることになるので、現在着用率は低いが重要度は高い。広報や、駐輪場の入口に、ヘルメット着用を呼びかける看板設置等の協力をしていただけるとありがたい。

【磯部会長】

市と調整されたい。

上記のとおり令和3年度第1回春日井市自転車等駐車対策協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

令和3年 9月 16日

会 長 磯部 友彦

署名人 山田 眞平